

**2025年3月期
中間期 決算説明会**

**2024年11月12日
タカラバイオ株式会社**

本日の内容

- **2025年3月期 中間期 連結業績**
- 各事業/プロジェクトの進捗状況

2025年3月期 中間期 連結業績

(百万円)	25/03期	前期比	前回予想比 (5/10)
売上高	19,758	+641 +3.4%	▲441 ▲2.2%
売上総利益	12,445	▲898 ▲6.7%	+145 +1.2%
販管費	12,028	+94 +0.8%	▲121 ▲1.0%
営業利益	417	▲993 ▲70.4%	+267 +178.0%
研究開発費	3,481	▲759 ▲17.9%	▲85 ▲2.4%

営業利益の増減要因 (百万円) (前回予想比)

売上数量減少	▲943
売上構成差	+302
為替変動影響	+787
売上総利益の増加	+145
研究開発費の抑制	+195
その他経費の削減	+455
為替変動影響	▲529
販管費の減少	+121
営業利益の増加	+267

②



2025年3月期 中間期 連結業績： 試薬事業 売上高

(百万円)	25/03期	前回予想比(5/10)		
		増減	うち為替 レート影響額	増減率 (為替影響 除く)
日本	2,697	▲129	-	▲4.6%
米国	6,781	352	+550	▲3.1%
欧州	1,645	▲115	+118	▲13.3%
中国	3,314	▲60	+229	▲8.6%
韓国	594	▲115	+40	▲22.0%
印度	371	▲28	+26	▲13.8%
合計	15,405	▲97	+964	▲6.9%

前回予想比(現地通貨ベース)

<日本> PCR関連酵素やアプリケーション分野が未達
 <米国> アカデミア向けカタログ製品は堅調、大口顧客向けRHT関連試薬が未達
 <欧州> 市場の回復が遅れアカデミア、インダストリー向けともに未達
 <中国> 研究用/カタログOEM/カスタム製品ともに未達
 <韓国・印度> 政府の研究費予算の縮減の影響が大き
 く未達

③



2025年3月期 中間期 連結業績： 機器事業・CDMO事業・遺伝子医療事業 売上高

(百万円)	売上高	前期比	前回予想比 (5/10)	前回予想比
機 器	426	+15 +3.7%	▲159 ▲27.2%	機器： 既存PCR関連装置の市場回復が遅延、dPCR装置新製品も未達 再生医療等製品関連受託： クライアントの開発方針変更による細胞加工受託および関連品質試験受託が未達 遺伝子解析/検査関連受託： 大型ゲノム解析プロジェクトが堅調に推移、シングルセル/空間解析等の新サービスの受注が好調 遺伝子医療： 欧州のRetronectin®(遺伝子治療薬製造補助剤)が好調、米国・中国で未達
C D M O	2,274	▲428 ▲15.9%	▲174 ▲7.1%	
再生医療等製 品	964	▲874 ▲47.6%	▲245 ▲20.3%	
遺伝子解析 / 検査その他	1,309	+446 +51.7%	+71 +5.7%	
遺 伝 子 医 療	1,652	+353 +27.2%	▲9 ▲0.6%	

④



本日の内容

- 2025年3月期 中間期 連結業績
- 各事業/プロジェクトの進捗状況

⑤



試薬事業：グローバル戦略①

	日本	中国	韓国
状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般研究用試薬は前期比増収するも、COVID関連試薬の売上が減少 政府の研究開発予算の大幅な増加は見込めず、特にアカデミア向け売上が鈍化 	<ul style="list-style-type: none"> 政府の研究開発予算の縮減が継続、最悪期は脱したが急速な市場回復は見込めず コモディティ製品の価格政策によりシェアを確保 中国向けグローバル製品の開発に注力 	<ul style="list-style-type: none"> 政府のアカデミア向け研究開発予算が縮小され、ライフサイエンス研究開発市場が低迷
施策	<ul style="list-style-type: none"> 検査診断用のOEM/カスタム製品や高付加価値製品の開発を加速 ノロウイルス検出試薬、腸管3菌種(腸管出血性大腸菌、サルモネラ菌、赤痢菌)検出試薬などのアプリケーション分野の営業強化 	<ul style="list-style-type: none"> インダストリー向けのグローバル対応をさらに進め、中国市場に特化したNGS関連試薬や検査診断用PCR酵素の開発、販売を強化 代理店体制の再構築による新規インダストリー顧客の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 公的研究機関向け営業の強化 インダストリー向けOEM/カスタム製品の営業強化

6

TakaRa

試薬事業：グローバル戦略②

	米国	欧州	印度
状況	<ul style="list-style-type: none"> 市況は緩やかな回復基調にあり、アカデミア向け研究用/カタログ製品の売上は堅調に推移しているが、これまで順調に成長していた米国製造のLDT向け酵素原料類やRHT関連製品の大口顧客への販売が鈍化 	<ul style="list-style-type: none"> 経済停滞長期化によりアカデミア研究用市場が縮小し回復が遅延 遺伝子工学関連試薬のOEM/カスタム製品を製造するスウェーデン拠点でのグローバル体制を構築中 	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関向け政府研究費予算執行が抑制され、ライフサイエンス市場が低迷
施策	<ul style="list-style-type: none"> アカデミアおよびLDTなどのインダストリー分野の新規顧客獲得に注力 OEM製品の米国製造を拡大し納期や価格に柔軟に対応できるグローバル体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> スウェーデン製OEM/カスタム製品の大口顧客獲得に注力 研究用/カタログ製品の特定の競合メーカー製品に対するキャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 印度向けグローバル製品の開発・製造の拡大 現地法人ブランド製品の営業強化

7

TakaRa

機器事業： デジタルPCRシステム PCR関連装置のラインアップを拡充

naica[®] システム



Nio[™]+ システム



Stilla Technologies SAS の Crystal Digital PCR[®] テクノロジー
専用チップで全工程を完了できる簡便な操作性
最大384検体/反応のハイスループット解析に対応
がんトリキットバイオプシー、細胞・遺伝子治療、病原体の検出
環境・食品検査などのアプリケーションが充実

8

Takara

機器事業： 遺伝子解析新メニューへも展開 Shasta[™] シングルセル自動調製システム

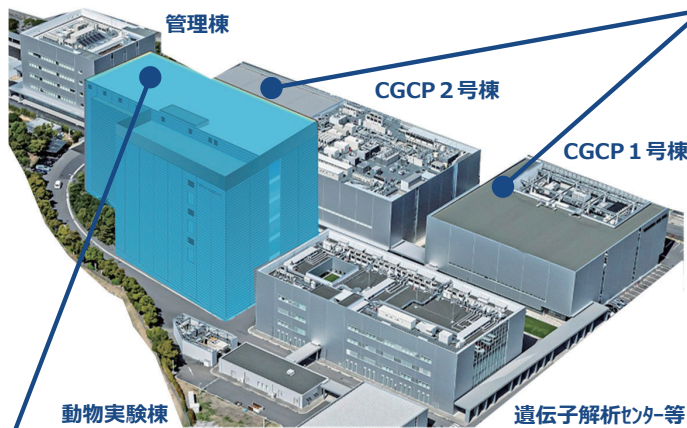


Takara Bio USA, Inc. 開発・製造
専用試薬との組み合わせにより、ハイスループットを実現
広範囲な細胞サイズに対応し、心筋細胞などの大きな細胞にも対応
核酸の長鎖解析に優れており、DNAやRNAの網羅的解析が可能
がん組織のシングルセル解析による新規バイオマーカー探索に強み

9

Takara

CDMO事業：多様なモダリティの製造に 対応可能な施設を先制的に整備



CGCP 1 / 2号棟主要設備

- ウイルスベクター・mRNA製造用バイオリアクター(25Lx2~500L~3,000L)
- プラスミドDNA・タンパク質製造用培養槽(90Lx2~200Lx3~2,000Lx2)
- 細胞加工室x11/ボールルームx3
- 品質試験専用フロア約1,750㎡
- 自動無菌充填能力23,000バール/日
- 体外診断用医薬品/遺伝子治療薬製造補助剤等製造設備(月産:800万PCR反应用キット相当)

CGCP 3号棟主要設備(建設中)

- 2024年5月着工/2027年竣工予定
- ワクチン製造拠点と部素材等製造拠点の役割を持つデュアルユース施設
- ウイルスベクター・mRNA製造用バイオリアクター(25Lx2~500Lx2~1,000Lx2)
- プラスミドDNA・タンパク質製造用培養槽(300Lx6)
- 品質試験専用フロア約1,500㎡ ・GMP製造用部素材専用自動倉庫を完備

⑩ CGCP：遺伝子・細胞プロセッシングセンター



CGCP3号棟新設計画の特長と優位性

● 製造にシングルユース資材を使用：

従来の固定配管装置/施設による製造に比べ、製造品目の切替えに要する期間を大幅に短縮可能。

● 平時と有事の設備切り替えがスムーズ：

有事のワクチンと、平時のCDMO事業/創薬事業で製造品目は同じモダリティ、シングルユース資材・原材料を共有することにより、切り替え期間が短縮可能。

● モダリティに加え、原材料・部素材も自社内で製造可能：

mRNA製造に必要な合成用酵素群を同一施設内で製造。
ウイルスベクターの原材料でもあるプラスミドDNAも社内既存施設にて製造。

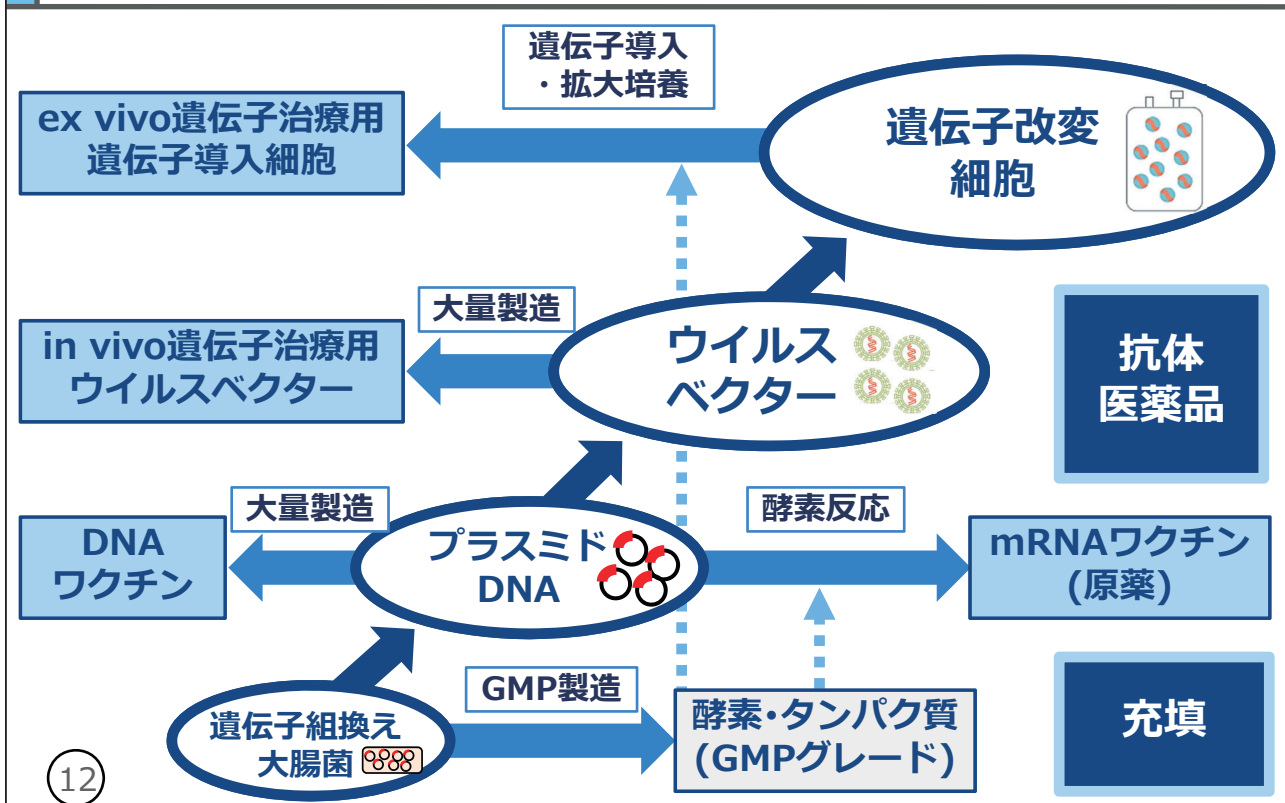
● 国内装置・部素材メーカーとのタイアップ(All In Japan)：

培養槽・調液装置、精製装置・樹脂、フィルター類(清澄化、滅菌用)などは国内メーカーとの連携により導入・設置する計画。パンデミック時のサプライチェーン危機にも耐える強靱な製造供給体制を構築。

⑪



再生医療等製品から製造補助剤 さらに抗体医薬品を製造する体制を整備



さらなる付加価値“R”を加え CDMOビジネスモデルの差異化を推進

C D M O



- 独自のプラットフォーム技術や臨床開発プロジェクトの経験を、クライアントの開発シーズへ提供できるのが当社の強み
- 将来の開発(D)・製造(M)を見据え、開発初期(R)からクライアントに伴走する包括的支援サービスを提供

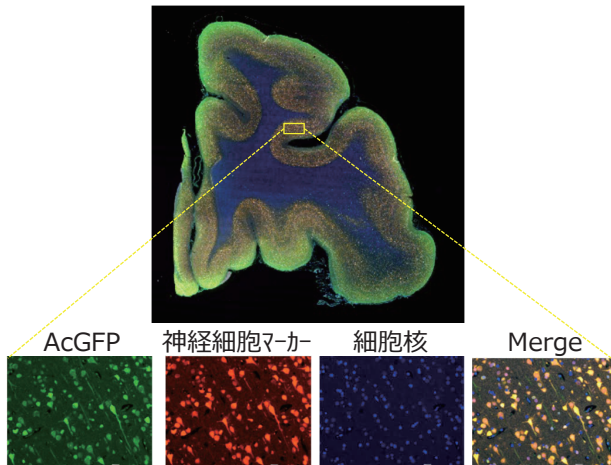
クライアントの
標的抗原/
治療用
遺伝子

当社基盤技術

	in vivo遺伝子治療		ex vivo遺伝子治療	
有効性・安全性 向上技術	CereAAV™	SonuAAV™	siTCR®	JAK/STAT ・CAR
高品質・高効率 製造技術	AAV 大スケール製造	LV 大スケール製造	RetroNectin®法	Spo-T™法

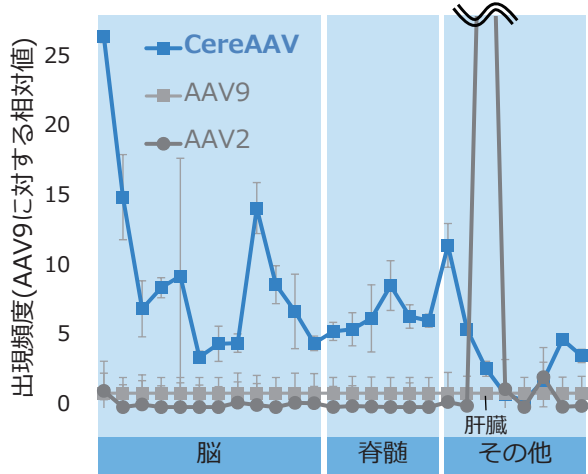
CereAAV™ : 静脈投与で脳血液関門(BBB)を通過 脳への高効率遺伝子導入と肝毒性の回避を実現

カニクイザル脳組織への遺伝子導入



CereAAV™は、大脳皮質前頭葉のほぼ全領域のニューロンと、尾状核の血管内皮細胞で遺伝子(AcGFP)発現を示した

カニクイザルでの遺伝子発現評価



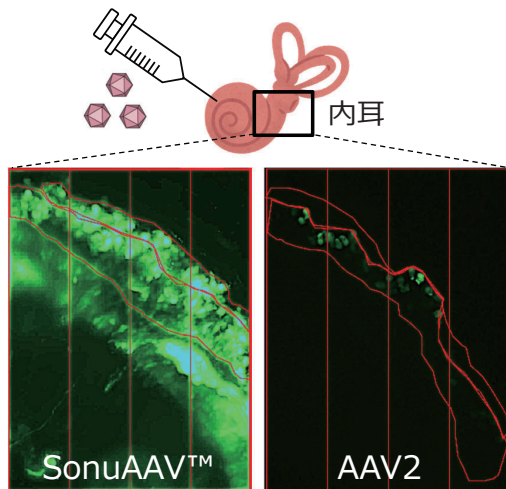
CereAAV™は、従来の遺伝子治療用ベクターに比べて、肝臓では低く、脳や脊髄で高い遺伝子発現を示した

14

TakaRa

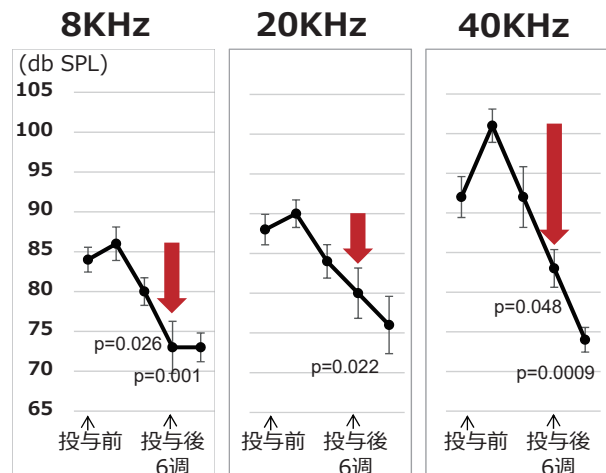
SonuAAV™ : 内耳組織への高効率遺伝子導入が可能 難聴モデルマウスで聴力改善を確認

マウス内耳への投与による評価



SonuAAV™により、既存の遺伝子治療用ベクター(AAV2)の10倍以上の効率で内耳支持細胞に遺伝子導入された(緑色)

難聴モデルマウスへの投与による評価



GJB2遺伝子搭載SonuAAV™を難聴モデルマウスに投与した実験により、投与後6週での聴力改善が確認された

15

順天堂大学 神谷和作 准教授との共同研究データより

TakaRa

Spo-T™法：高品質CAR-T細胞の短期間製造法を開発 製造コスト低減と有効性向上を実現

従来法：約2週間

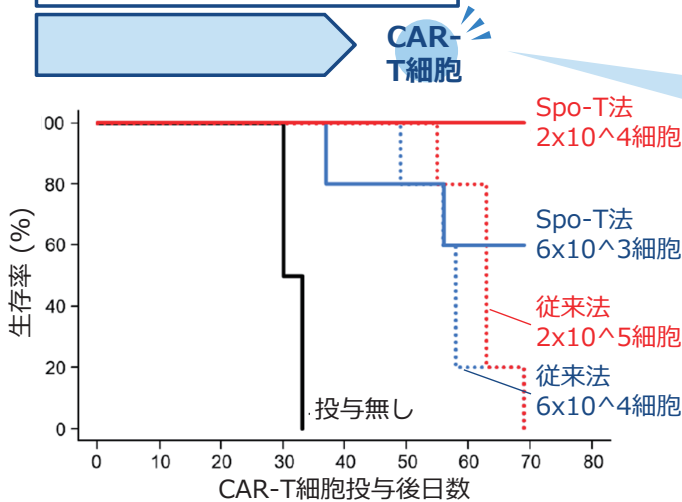
リンパ球活性化 ▶ CAR遺伝子導入 ▶ 拡大培養

CAR-T細胞

Spo-T™法：約2日

Spo-T™: Short period operation for T-cell production

分化・疲弊が進み
抗腫瘍効果が低減



マウス抗腫瘍活性評価試験結果：

- ✓ Spo-T™法で製造したCAR-T細胞は、従来法で製造した細胞の1/10の投与量で、長期間にわたり高い抗腫瘍効果を示した(左図)
- ✓ 投与後の体内生着や増殖能も、従来法で製造した細胞より優れていた

16

2024年9月 日本癌学会学術総会にて発表



自社開発プロジェクト/提携プロジェクト プロジェクトに合わせ最適な推進方法を選択

遺伝性難聴に対するアデノ随伴ウイルスベクター遺伝子治療の開発で
株式会社ギャップジャンクションと業務提携

タカラバイオ株式会社は、順天堂大学発のベンチャー企業である株式会社ギャップジャンクション（以下、ギャップジャンクション社）とGJB2遺伝子変異型難聴^(注1)に対するアデノ随伴ウイルス（以下、AAV）ベクター遺伝子治療の開発に関する業務提携基本契約（以下、本提携）を、2024年6月18日付で締結しました。

ノイルイミュン・バイオテック株式会社と
固形がんに対するCAR-T製品の共同開発に関する業務提携契約を締結

タカラバイオ株式会社は、ノイルイミュン・バイオテック株式会社と、同社（以下、NIB社）が開発する独自のキメラ抗原受容体（CAR）-T細胞製品であるNIB103^(注1)の共同開発に関する業務提携契約（以下、本提携）を、2024年9月25日付で締結しました。

JAK/STAT

TBI-2001(CD19・JAK/STAT・CAR)：血液がんに対する臨床試験(カナダ・プリンセスマーガレットがんセンター)が進行中

siTCR®

TBI-1301(NY-ESO-1・siTCR®)：先駆け総合評価相談の審査が進行中、市販後の製造や質保証に関する体制整備を推進

17



製造補助剤 (Ancillary Materials) 製造： 製造用原材料の自社調達と他社への供給も推進

mRNA合成用酵素 High Quality / GMP grade

mRNAの高効率合成、
収量向上に必須な酵素群

- T7 RNA Polymerase
- Pyrophosphatase (inorganic)
- Faustovirus Capping Enzyme
- mRNA Cap 2'-O-Methyltransferase
- Recombinant RNase Inhibitor
- BspQ I

RetroNectin® GMP grade

ウイルスベクターによる血液細胞等への高効率な遺伝子導入を可能とする遺伝子組換えタンパク質 CAR-T, TCR-T 遺伝子治療製品などの製造に全世界で広く採用。研究用にはカタログ製品販売、商用製造にはライセンス供給。



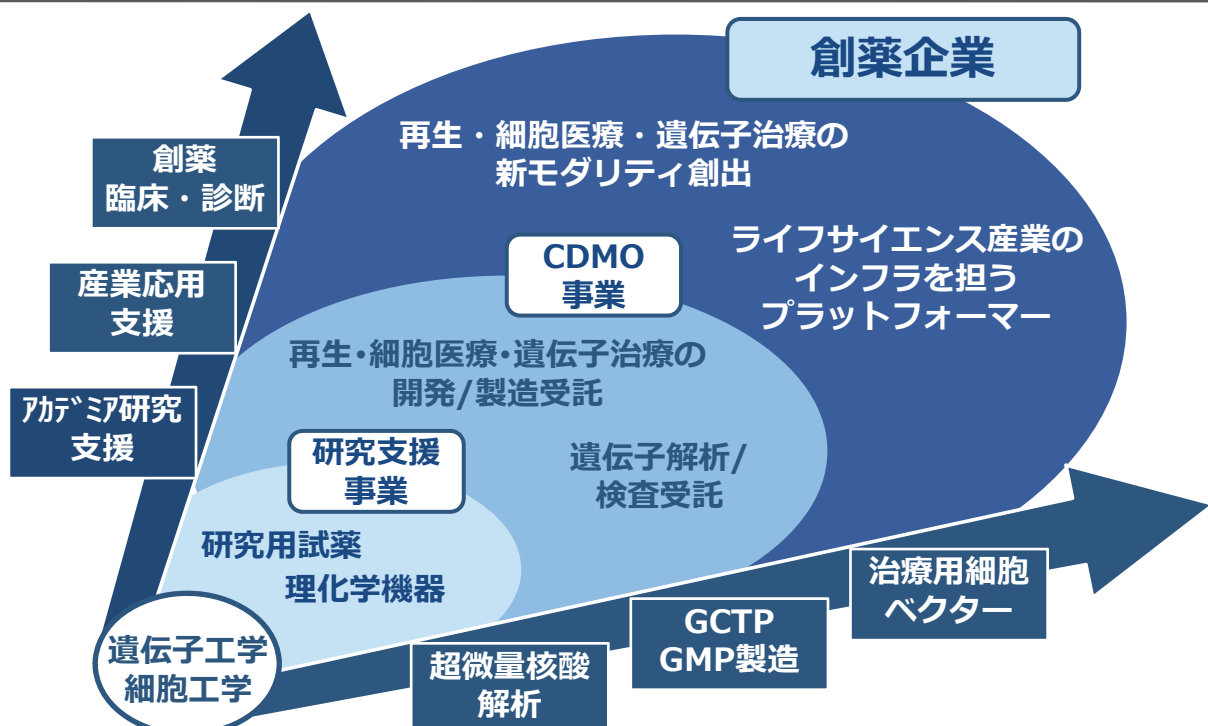
その他 GMP grade 製品

- Anti-CD3 mAb GMP grade：
RetroNectin®との併用によりリンパ球 (CAR-T細胞など)の拡大培養に使用
- Recombinant Cas9 Protein GMP grade：
ゲノム編集を用いる体外遺伝子治療製品の開発・製造に使用

18

TAKARA

研究支援事業とCDMO事業を両輪に 新モダリティを創出し続ける創薬企業を目指す



19

TAKARA

将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：広報・IR部

E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

参考資料

- ・ 中間期 連結業績
- ・ 中間期 カテゴリー別売上高
- ・ 中間期 試薬 地域別売上高
- ・ 中間期 会社別業績
- ・ 通期 連結業績 予想
- ・ 通期 カテゴリー別売上高 予想
- ・ 通期 試薬 地域別売上高 予想
- ・ 通期 会社別業績 予想
- ・ 為替レート（実績・予想）

中間期 連結業績

(百万円)	25/03期 中間期	前期比		5/10前回予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	19,758	+641	+3.4%	▲441	▲2.2%
売上原価	7,313	+1,540	+26.7%	▲587	▲7.4%
売上総利益	12,445	▲898	▲6.7%	+145	+1.2%
販売費及び 一般管理費	12,028	+94	+0.8%	▲121	▲1.0%
営業利益	417	▲993	▲70.4%	+267	+178.0%
経常利益	549	▲1,049	▲65.6%	+299	+119.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	513	▲570	▲52.7%	+413	+413.2%

中間期 カテゴリー別売上高

(百万円)	25/03期 中間期	前期比		5/10前回予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試薬	15,405	+701	+4.8%	▲97	▲0.6%
機器	426	+15	+3.7%	▲159	▲27.2%
受託	2,274	▲428	▲15.9%	▲174	▲7.1%
再生医療等製品	964	▲874	▲47.6%	▲245	▲20.3%
遺伝子解析／検査	1,068	+434	+68.6%	+37	+3.6%
その他	242	+11	+5.0%	+34	+16.4%
遺伝子医療	1,652	+353	+27.2%	▲9	▲0.6%
売上高合計	19,758	+641	+3.4%	▲441	▲2.2%

中間期 試薬 地域別売上高

(百万円)	25/03期 中間期	前期比			5/10前回予想比		
		増減	うち為替 影響額	増減率 (為替影響除く)	増減	うち為替 影響額	増減率 (為替影響除く)
日本	2,697	▲862	-	▲24.2%	▲129	-	▲4.6%
米国	6,781	+896	+773	+2.1%	+352	+550	▲3.1%
欧州	1,645	▲250	+189	▲23.2%	▲115	+118	▲13.3%
中国	3,314	+905	+253	+27.1%	▲60	+229	▲8.6%
韓国	594	▲47	+44	▲14.3%	▲115	+40	▲22.0%
印度	371	+59	+38	+6.7%	▲28	+26	▲13.8%
合計	15,405	+701	+1,299	▲4.1%	▲97	+964	▲6.9%

24

※ 2024年3月期まで「試薬」に含めていたmRNA製造用関連製品（研究用）等の売上高を、2025年3月期より「遺伝子医療」に加えております。本表は当該変更を反映して組み替えております。



中間期 会社別業績

(百万円)	売上高	営業利益
タカラバイオ（単体）	10,853	▲600
Takara Bio Europe（連結）	2,261	▲249
宝生物工程（大連）	1,764	62
宝日医生物技術（北京）	3,912	454
Takara Korea Biomedical	677	99
DSS Takara India	393	36
Takara Bio USA	8,318	528

25



通期 連結業績 予想【5/10前回予想から変更なし】

(百万円)	25/03期 通期予想	前期比	
		増減	増減率
売上高	48,900	+5,394	+12.4%
売上原価	19,301	+2,704	+16.3%
売上総利益	29,598	+2,690	+10.0%
販売費及び 一般管理費	24,598	+693	+2.9%
営業利益	5,000	+1,996	+66.5%
経常利益	5,200	+1,794	+52.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,400	+1,919	+129.6%

26



通期 カテゴリー別売上高 予想【5/10前回予想から変更なし】

(百万円)	25/03期 通期予想	前期比	
		増減	増減率
試薬	33,969	+2,563	+8.2%
機器	1,520	+627	+70.3%
受託	10,000	+2,002	+25.0%
再生医療等製品	5,614	+1,388	+32.8%
遺伝子解析／検査	3,980	+660	+19.9%
その他	406	▲46	▲10.1%
遺伝子医療	3,410	+201	+6.3%
売上高合計	48,900	+5,394	+12.4%

27

※ 2024年3月期まで「試薬」に含めていたmRNA製造用関連製品（研究用）等の売上高を、
2025年3月期より「遺伝子医療」に加えております。本表は当該変更を反映して組み替えております。



通期 試薬 地域別売上高 予想 [5/10前回予想から変更なし]

(百万円)	25/03期 通期予想	前期比		
		増減	うち為替影響額	増減率 (為替影響除く)
日本	6,989	▲386	—	▲5.2%
米国	13,556	+911	▲63	+7.7%
欧州	3,877	+203	+25	+4.8%
中国	7,303	+1,510	▲81	+27.5%
韓国	1,425	+103	▲36	+10.6%
印度	815	+190	0	+30.4%
合計	33,969	+2,531	▲157	+8.6%

28

※ 2024年3月期まで「試薬」に含めていたmRNA製造用関連製品（研究用）等の売上高を、2025年3月期より「遺伝子医療」に加えております。本表は当該変更を反映して組み替えております。



通期 会社別業績 予想 [5/10前回予想から変更なし]

(百万円)	売上高	営業利益
タカラバイオ（単体）	28,103	752
Takara Bio Europe（連結）	4,901	130
宝生物工程（大連）	4,157	586
宝日医生物技術（北京）	8,483	808
Takara Korea Biomedical	1,627	282
DSS Takara India	867	86
Takara Bio USA	18,617	2,350

29



為替レート（実績・予想）

(単位：円)	24/03期 中間期	25/03期 中間期	24/03期 通期	25/03期 通期
	実績	実績	実績	予想
米ドル	134.99	152.36	140.66	140.00
ユーロ	145.92	164.69	152.10	153.00
人民元	19.45	21.06	19.82	19.60
100ウォン	10.43	11.27	10.77	10.50
インドルピー	1.64	1.83	1.70	1.70
ポンド	166.61	192.78	175.03	177.00